

佐世保のまちなかにある外国人バーの店内。壁一面のドル紙幣が独特の雰囲気を出している。



昭和25年ごろの松浦町付近。繁華街は朝鮮戦争の特需で沸き返り、現三ヶ町商店街の裏通りには何十軒もの外国人バーが軒を連ねていた。



特集 佐世保の歴史や文化を観光素材に

# まちなか観光

地元のガイドの話聞きながら、ゆつくりとそのまちを巡る「まちなか観光」。そのまちを深く知ることができ、旅行者にも好評なため、全国各地で商品化が検討されています。佐世保には港まちとして歩んできた歴史があり、そこから外国人バーやジャズバーなどさまざまな文化が生まれてきました。今回はこうした歴史や文化を生かし、この秋から本格的に始まる「佐世保のまちなか観光」についてお知らせします。

## そのまちの風土を肌で感じたい

10月10日、気の合う仲間1人で、ぶらりと国内旅行。型にはまったバック旅行に飽きを感じていたので、今回は旅先をより深く感じられるよう、ガイドさんと一緒に「まちなか」を巡るツアーに参加してみた。やはり地元のことには地元の人に聞くのが一番。そのまちなかではの歴史を肌で感じる事ができ、新鮮な感動を覚えた。ツアー後にはガイドさんに教えてもらったオースメの洋食屋に行き、地元の人しか知らない裏メニューを堪能。満足、いや大満足！。

旅行者ニーズが多様化している今、こうした旅行の楽しみ方が注目されています。そのまちなかの風土が感じられる場所で、そのま

ちに暮らす人から、そのまちなかのお話や話を聞く。こうした旅行は「まちなか観光」と呼ばれ、旅行者ニーズをとらえた新しい観光スタイルとして、全国各地に広まっています。商品化するには地域の詳しい情報が必要で、各地域では官民一体となり、さまざまなツアーが検討されています。

## 佐世保のまちなかツアー

佐世保には、旧日本海軍や米海軍とともに歩んできた歴史があり、その歴史から生まれた外国人バーやジャズバー、佐世保バーガーなど、旅行者にとって魅力的な素材がたくさんあります。

また本市は、宿泊施設が集中する市中心部を「九十九島」「ハウステンボス」に次ぐ第三の観光拠点にすることを課題にしており、新たな観光客層を開拓し、市全体としての誘客を図っていくためにも、まちなか観光の商品化は大きな意味を持っています。

このようなことから、その企画・商品化に取り組んできた佐世保観光コンベンション協会では、平成20年5月、本市初となるまちなか観光ツアー「海軍さんの港まちツアー」の販売を開始。続いて本年4月には「SASEBO港まち歩きツアー」がスタートし、この秋には「SASEBO港まちナイトツアー」が加わります。

佐世保の魅力が再認識できるこれらのツアー。市民の皆さんも十分に楽しめますので、一度参加してみてください。

# 海軍さんの 港まちツアー

本市初のまちなか観光ツアーで、普段は入れない米海軍佐世保基地内の散策や海上自衛隊の艦艇見学などができ、県外からの観光客などに大好評です。

英語表記のカラフルな看板や標識、明るく交わされる英語でのあいさつなど、米海軍基地では、入場ゲート内に一歩足を踏み入れると、すぐにアメリカの雰囲気を感じることが出来ます。

このツアーのメインガイドを務めるのは、基地内で働き、本市在住20年のフリーリップ・イーキンスさん。このほど「佐世保軍港史」を執筆されるなど、佐世保の歴史に詳しく、佐世保の軍港にまつわる話をアメリカ人の視点で語ります。イーキンスさんは英語でガイドするため、ツアーには通訳ガイドが同行し、日本語での解説も行います。

現在もショップ等に活用されている赤レンガ倉庫など、基地内の旧日本海軍の遺構をひとしきり散策した後は、お待ちかねの昼食。基地内レストランでの「ランチバイキング」では、やわらかいコースト

# 港まち 歩きツアー

繁華街の小さな路地裏、いつも何気なく歩いている散歩道…。普段見慣れているまちなかの風景ですが、そこには歴史を感じる象徴的なものや、佐世保ならではのエピソードがたくさん隠されています。

そうしたスポットをガイドに解説してもらいながら、まちなかでの小さな発見を楽しむこのツアー。路地裏や通りなど、まちなかの気になるスポットは、「させば港まちづくりスタジオ」の学生たちが見つけ、それを「させばガイド・ネットワーク(S・G・N)」の皆さんがコースに仕上げるという、コラボレーション企画で実現しました。

今回、ガイドを務めたのは、市内在住の清水芳子さん。S・G・Nに所属し、ことしの4月にガイドデビューしました。柔らかい語り口調が印象的で、佐世保のまちなかを歴史や文化の視点で切り取り、当時の写真を使って分かりやすく解説します。

このツアーには、今回紹介するAコースのほか、万津町周辺など港を中心に巡るBコースもあります。



**INTERVIEW**  
サプライズを入れて楽しいツアーに！  
ガイドになろうと思ったのは、エコツーリズム人材育成講座を受講したのがきっかけでした。港まちさせばには、いろんなストーリーがたくさんあります。そこにちょっとしたサプライズを入れて、お客さまに「楽しかった～」と言っていただけのようなガイドをしていきたいと思っています。  
清水芳子さん(ツアーガイド)



1 佐世保橋が見える場所に立ち止まり、その歴史などを解説する清水さん 2 コンクリート造りの佐世保橋、下士官兵集会所、白亜の凱旋記念館がセットになった風景は当時の佐世保のシンボリックな情景(大正末期、平瀬町) 3 島地山と佐世保の歴史にまつわる話を聞く参加者(島地山登り口)

1 米海軍基地内で参加者に説明するイーキンスさん(右)と通訳ガイドの廣田智孝さん(左)。ガイド業務はすべてボランティアで行っています 2 赤レンガ倉庫群を散策する参加者 3 近代化遺産としても貴重な赤レンガ倉庫 4 海上自衛隊員の案内で艦艇を間近で見学する参加者



**させば港まちづくりスタジオ**  
九州大、長崎国際大の学生たちが佐世保のまちづくりの研究活動を行うまちなかのサテライト研究室。「あるもの探し」から、港の風景、赤レンガ、外国人バーなど佐世保らしいものをまちづくりに生かそうと平成18年度から活動を続けています。佐世保の「まちなか観光」は彼らの活動がきっかけとなりました。  
<http://www.sasebo-minato.jp/>



**させばガイドネットワーク(S・G・N)**  
佐世保のエコツアーガイドの人たちを結ぶネットワークで、昨年11月に発足(事務局は佐世保観光コンベンション協会)。市内のエコツアー事業者や個人ガイドなど54人で組織し、ツアーコースを考えたり、情報交換などを行っています。

させばガイドの手のひらブログ  
<http://ecostay.jugem.jp/>

アメリカの雰囲気十分に満喫した後は、立神岸壁までバスで移動し、海上自衛隊の艦艇見学です。ここでのガイドは現役の海上自衛隊員やOBの皆さんで、実体験に基づく貴重な話を聞くことができます。実際に艦艇に乗船し、迫力ある装備を間近で見ながら、ガイドさんの体験談を聞いてみると、国防のため最前線で頑張っている海上自衛隊員の皆さんの苦労がひしひしと伝わってきます。テレビや映画とは違うリアルな体験の中から、いろいろなことを感じ取ることが出来るツアーです。



フードコートで食べることができる  
サンドイッチとスープ

SASEBO港まち歩きツアー(所要時間約2時間)：●実施日/金・土・日・月曜、祝日 ●料金/1,000円 ●定員/2人以上(最大10人まで)  
●コース例/MR佐世保中央駅→四ヶ町商店街→島地山→佐世保独楽本舗→平瀬橋→ニミツパーク→佐世保橋→旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館→島瀬公園 ●申し込み/実施日の3日前までに電話で佐世保観光情報センター(☎22-6630)へ

海軍さんの港まちツアー(所要時間約6時間)：●実施日/毎月第4日曜日 ●料金/8,500円(昼食付) ●定員/20人 ●コース/佐世保駅→弓張岳展望台→米海軍佐世保基地→海上自衛隊艦艇見学→海上自衛隊総監部→セイルタワー→佐世保駅 ●申し込み期間/6カ月前から先着順に受け付け(実施日の10日前に締め切り) ●申し込み方法/電話で佐世保観光コンベンション協会(☎23-3369)へ



①ことしのチェルシー・フラワーショーでゴールドメダルを受賞したアンディ・スタージョン氏の庭②メイン会場となるパレスハウステンボス③日本代表として出場する石原和幸氏の庭(2008年)

## 世界のトップガーデナーがハウステンボスで競う、国内初、花と緑の祭典 ガーデニングワールドカップ 2010 ナガサキ フラワーショー

世界各国のトップガーデナーが長崎・ハウステンボスに集まり、世界最高の座を競うガーデニングのワールドカップ。長崎県出身の世界的に著名なガーデナー石原和幸氏プロデュースによる大会で、テーマは「緑と花による平和と再生への祈り」。世界で最も権威があるといわれる、英国「チェルシー・フラワーショー」で2010年度最高位のゴールドメダルを獲得したアンディ・スタージョン(英)など、トップガーデナーたちが母国の名誉と威信を懸け、最高峰のガーデニング技術を競い合う花と緑の祭典です。

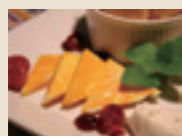
時 10月9日④～17日⑥  
 ※10月18日⑥～31日⑥は庭園公開のみ  
 場 パレスハウステンボス周辺特設会場  
 料 10月9日④～11日⑥⑥一般2,800円、12日⑥～17日⑥一般2,000円、18日⑥～31日⑥一般1,000円(パレスハウステンボス単独前売り料金 ※当日は各200円増し)  
 問 ガーデニングワールドカップ実行委員会事務局  
 ☎27-0369(平日9時～17時)  
<http://www.gardeningworldcup.jp/>

## 100種類のワインを試飲できるチャンス! ワインフェスティバル サンヴァンサン祭



ことしで12回目を迎える「サンヴァンサン祭」は、購入したタートヴァン(参加証)の種類に応じてワインが試飲できる人気のイベント。ことしはアルコールを飲めない人でもおいしいジュースが試飲できる「こどもタートヴァン」が新登場。ワイン通には貴重な1杯が付いた「プレミアムタートヴァン」がおすすめです。

時 10月9日④～24日⑥13時～20時  
 場 アレキサンダー広場特設会場  
 【タートヴァン料金】  
 ●レギュラー 1,000円(100種類のワインの試飲)  
 ●ゴールド2,000円(100種類のワイン+高級ワイン10種類の試飲)  
 ●プレミアム5,000円(100種類のワイン+高級ワイン10種類+ヴィンテージワイングラス1杯の試飲)  
 ●こども500円(ジュース数種類の試飲。大人もどうぞ)  
 ※タートヴァンによる試飲は当日のみ有効。上記料金以外に、ハウステンボスの入場料が別途必要です。



ミニミニフード&スイーツ  
 ワインにピッタリのおつまみやスイーツをミニサイズにしたものです。  
 時 10月1日④～24日⑥ 料 1品300円、  
 アベチケット(4枚綴り)1,000円

## 港まち ナイトツアー

「一度は行ってみたいけど、ちょっと入りにくい外国人バー。地元の慣れた人が案内してくれるなら行ってみたいいな」。そんなニーズに応えるのがこのツアー。気軽に佐世保の夜が楽しめます。

午後7時30分。繁華街のネオンが灯り出すころにこのツアーは始まります。この日のガイドは清水保穂さん。元気の清水さんに老舗のジャズバーやお薦めのお店などを案内してもらいながら、湊町辺りまで歩いていきます。

「外国人バーは最盛期ほどではないものの、今でも数十軒が営業していて、店の外観や店内の様子などは以前と変わらない雰囲気があります」。こうした清水さんの説明を聞いた後、いよいよドキドキしながら店内へ。薄暗く、いかにもアメリカらしい雰囲気、漂う店内には、陽気な笑い声と英語での会話が飛び交っており、自然と気持ちが高まってきました。

このツアーでは、最初のオーダーまでをガイドがサポートするため、慣れない外国人バーでも気兼ねなく楽しむことができます。10月から始まるこのツアー。皆さんも一度参加してみませんか。



①ツアーで立ち寄る外国人バーの店内。支払いは注文ごとにお金を払うキャッシュ・オン・デリバリー方式で、ハンバーガーなどの持ち込みもできる  
 ②白熱球の柔らかい光に浮かび上がるディスプレイ③外国人客に話し掛ける参加者④「パラダイスストリート」と呼ばれた三ヶ町裏通り(昭和40年ごろ)

### INTERVIEW ゆっくり滞在したいと思ってもらえるツアーに



若いころから旅好きで、旅先の人と触れ合ったことが今でも記憶に残っています。ツアーガイドになったのは、妻(港まち歩きツアーガイドの芳子さん)と同様に、エコツーリズム人材育成講座を受講したのがきっかけ。講座には夫婦それぞれで申し込んだため、お互いの受講を会場ですべて知りました(笑)。佐世保には独特の魅力がたくさんあるので、観光客の皆さんに、ゆっくりと滞在したいと思ってもらえるようなツアーにしたいと思っています。  
 清水保穂さん(ツアーガイド、写真中央)



ジャズが似合う街 SASEBO  
 戦後間もないころ、200人以上のJAZZ MANが、民間のホール、キャバレー、米軍関係のクラブなどで活躍していた佐世保。街のいたるところでジャズの音色が鳴り響いていました。(写真は老舗のジャズバー)